

令和2年3月25日

府中市長 小野 申人 様

府中市行政経営プラン推進委員会
会 長 前山 総一郎

府中市行政経営プラン（案）について（答申）

令和元年8月20日付け府総第179号で諮問のあった、府中市行政経営プラン（案）については、慎重に審議した結果、次のとおり答申します。

地方自治体を取り巻く環境は、人口構造の急速な変化、デジタル技術による社会経済システムの変革や価値観の多様化など、経験したことのない大きな変容を迎えようとしています。

府中市行政経営プラン（案）は、このような情勢の変化に的確に対応し、経営資源を最大限に活用しながら、より満足度の高い行政サービスを提供することや、府中市のもつ魅力を高め、新たな価値を生み出すという視点を加えた行政運営の方向性を示しており、概ね妥当と判断します。

プランの遂行にあたっては、財政状況に留意しつつ、職員及び市民の理解と協力を得ながら、持続可能で質の高い市民サービスを提供できるよう、推進にむけて取り組んでいただきたい。

なお、審議する中で各委員から提案された意見を別紙のとおり取りまとめましたので、実施にあたっては十分配慮されることを希望します。

主要な意見

- 1 本プランは、複雑多様化する行政ニーズに応えるとともに将来にわたり持続可能な形でサービスを提供するため、選択と集中を基本とし、多様な主体と連携しながら、市民サービスの向上や市の持続的な発展を市民が実感できる行政経営を目指して取り組む必要がある。

このプランの実現には、職員へ落とし込む側と実行する側の職員それぞれが、これまでの仕事から変える必要性を認識し、行動に移すことが必要不可欠である。公務員の仕事は、前例のとおりによれば1年が終わり、マンネリ化しがちであるが、何のためにこの仕事をやっているのかという目的を常に意識して、業務にあたって頂きたい。また、地域に出て様々なニーズをくみ取りながら、前例踏襲主義から一歩踏み出し、後追いではなく、将来を予見して、「市民のために」職員一丸となった取組みに努められたい。合わせて、そういった行動が見える形で評価するなど、職員が仕事に誇りを持ち、働きがいのある職場環境づくりに努められたい。

- 2 行政は継続事業が多く、市民が相手の中で事業のスクラップが難しいところがあるが、しっかりとした議論と検証をした上で、やめるという英断をしていただきたい。

- 3 組織力の向上については、業務に応じた人材を適材適所で起用することが重要である。また市民ニーズが多様化する中、プロジェクトチームなどの組織横断的な仕組みの積極的な活用やICT・広報などのすべての部署に関わる業務のより効果的な運用、事業達成型の職の配置など、横串を刺した組織内連携や個々の職員の能力を活かした様々な形での組織への貢献も検討されたい。

- 4 事務事業の推進にあたり、PDCAサイクルを回す中で結果を出すためには、数値と期限を区切って、その目的に向かってどう行動するかを、上司が具体的かつ明確に指示を出し、下に任せることで職員の力を最大限に引き出すことが重要である。また行政は一度決めたら変わらないことが多いが、状況の変化に柔軟に対応し、スピード感を持って取り組んでいただきたい。

- 5 人材育成については、上司が職員に期待することを伝えた上で、具体的に発揮した能力やプロセスを評価して頂きたい。また組織として必要な能力を勘案した上で、今後のキャリア形成を意識した人材育成及び能力向上に積極的に取り組まれたい。

- 6 若手職員や女性職員を中心としたワーキングチームなど、チャレンジ意欲の向上や職員の育成につながるボトムアップの取組を進めるとともに、挑戦する人に対して応援やバックアップができる環境づくりや連携の意欲を引き出す風通しのよい組織づくりに努められたい。
- 7 業務の生産性向上に関しては、業務上の課題や手続き等で不便に感じている事をしっかりと見える化し、目的を明確化した上で、ゴールを考えてから取組を進められたい。A I やR P Aなどの新たなデジタル技術は、業務フローを見直した上で、費用対効果を検証しながら、積極的に活用されたい。また窓口業務については、夜間や休日でも利用できるような市民目線での利便性の向上を図って頂きたい。
- 8 公共施設については老朽化も進んでおり、今後すべての施設の維持管理を市で行うことが難しいことを念頭に置いた上で、民間や地域などに任せる際には、サービス維持・向上を原則として、市民に丁寧な説明をするとともに、官民でしっかりと協力し、利活用策や支援策を考えて頂きたい。
- 9 I C Tを積極的に活用し、共感を得ながら相手に伝わるわかりやすい情報発信を行うとともに、コミュニケーションを相互にとり、開かれた市役所を目指して市民と一体となって取組まれたい。また市の辿ってきた歴史、ストーリーや背景を踏まえながら、市の強みを見定め、他市との差別化を図り市のセールスに活かして頂きたい。
- 10 職員が積極的に地域に出てネットワークを広げ、市民、町内会、民間企業や関係団体などのニーズをしっかりと把握し、施策に反映するとともに、市民と一体となつての取組に努めて頂きたい。また町内会については、役員や民生委員などの負担を念頭においた上で、持続可能な体制について、市が中心となつて考えて頂きたい。
- 11 プランの推進にあたっては、重点項目を絞り込み、資源を集中させて成果を生み出すことで成功体験を得て次へ展開させるなど、職員が変わるきっかけをつくりながら、全庁的な取組となるよう努められたい。また、毎年度、進捗管理と検証を行い、取組を着実に実行されたい。